



精神分析的な心理療法セミナーみえ

ワーク・ディスカッション・セミナー



企画
鈴木 誠

くわな心理相談室
日本精神分析学会
認定スーパーバイザー
認定心理療法士

心理療法が届かぬ世界へ・・・

激しいこころの痛みを抱えた人々が大勢いるのが明らかであっても、標準的な心理療法の援助が及ばない人々や世界があります。・・・こうした領域で働く臨床家は急速に増え、彼らは「専門家として、何をなすべきか」を自問自答しながら、日々、悪戦苦闘しています。

鈴木誠：ワーク・ディスカッションとは何か——ワーク・ディスカッション。マーガレット・ラストン、ジョナサン・ブラッドリー編（鈴木誠，鶴飼奈津子監訳）。岩崎学術出版。2015より抜粋

2018年度募集

日時	第2水曜日 年10回 19:00~21:30
参加資格	臨床心理士 心理職 社会福祉士 精神保健福祉士 精神科医 心理系大学院生
定員	12名
会場	くわな心理相談室 桑名駅西口より 徒歩1分
費用	年会費 ¥10,000 参加費 ¥40,000 ※セミナーみえの 系統講義も合わせて 受講する場合の参加費 ¥20,000

これを読んで我が身を思う臨床家は、多いのではないのでしょうか。こうした「過酷な」現場で、臨床家の仕事に、理論的根拠と専門的技法を与えてくれるのが、ワーク・ディスカッションです。タビストック・クリニックで発展してきたワーク・ディスカッションは、ビオンのコンテインメントの概念など、精神分析の着想を応用するグループワークです。1960年代からタビストック・クリニックの体系的な訓練プログラムとして登場し、現在では幅広い対人援助職の大学院のカリキュラムにも組み込まれていますが、わが国ではまだ馴染みの薄いものです。

ワーク・ディスカッションでは、参加するメンバーが所属する職場での一場面を主観的・客観的に観察し、その叙述的な観察記録をもとに、セミナー・リーダーとともにグループで話しあいます。

ワーク・ディスカッションは、職業意識（やりがい）の向上や啓発、ストレス・マネジメント、組織の集団心性の理解、組織の改革や発達、そしてその組織機能を促進する効果があります。そのため、過酷なストレスに曝される医療や福祉や教育現場への継続的な能力開発プログラム、ストレス・マネジメント、自己啓発や組織コンサルテーションとしても活用されています。

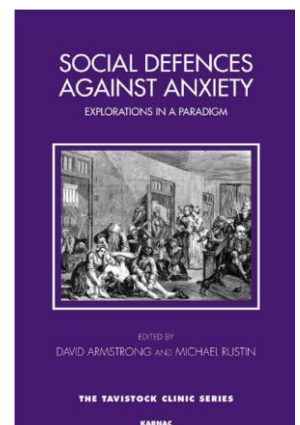
ワーク・ディスカッション・セミナー 講師：鈴木誠

前半は、児童養護施設でのワーク・ディスカッション・セミナーの報告を基に、実際にワーク・ディスカッションを体験します。後半の講義では、テキストを読み合わせ、その理論を学んでいきます。

——今年度テキストの紹介——

David Armstrong, Michael Rustin 編
Social Defences Against Anxiety
: Explorations in a Paradigm
Karnac Books 2015

※本文の邦訳版は出版されていませんが、
当セミナーで日本語訳を提供します。



セミナーみえの歴史と概要

1999年春に10名の有志が集い、地方でも精神分析的な心理療法を学べる場として、前身となる研究会が設立されました。この10名は中堅やベテランの臨床心理士で、それ以前もそれぞれが精神分析の研修を重ねてきていました。研究会を設立するに当たり、自分たちがどんな研修機会を求めているのかを議論し、この研究会の理念を明確にしました。そして、2007年には日本精神分析学会の研修グループ認定制度の開始にともない平井正三氏（御池心理療法センター・NPO法人 子どもの心理療法支援会）を顧問に招請して、日本精神分析学会認定研修グループの「精神分析的な心理療法セミナーみえ」が発足されました。

「系統講義の研修機能」と「症例・事例検討会の研修機能」を有し、年一回の公開セミナーとして「特別講義」を主催してきました。2015年度からは新たに「メンバーシップ制」を導入し、会員向けの研修機会のさらに多様な研修機会を提供しています。

顧問：平井正三（御池心理療法センター）精神分析学会 認定スーパーバイザー・認定心理療法士

代表：鈴木 誠（くわな心理相談室）精神分析学会 認定スーパーバイザー・認定心理療法士

事務局：堀 英太郎（ながら心理相談室）臨床心理士

メンバーシップ制とは

- 年会費10,000円で、さまざまな講座にメンバーシップ料金で受講できます。
- 学会発表や論文投稿、日本精神分析学会認定資格の取得のための支援が受けられます。
- 社会貢献事業の「調査・研究」への参加資格や自主勉強会の会場提供などが受けられます。
- 臨床現場に必要とされる多様な研修機会の企画に参加できます。
- 複数の講座を受講するとき、経済的な負担を軽減できます。
- セミナーみえには、ワーク・ディスカッション・セミナーの他、4つの系統講義（アドバンス、ミドル、ジュニア、ベーシック）と事例検討会があります。

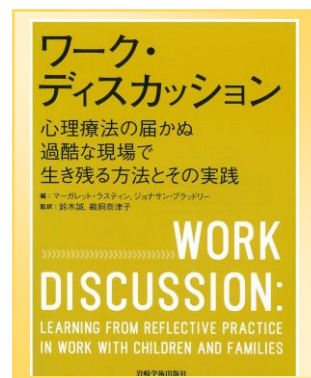
昨年度テキスト

マーガレット・ラスティン、ジョナサン・ブラッドリー 編

鈴木誠、鶴飼奈津子 監訳

「ワーク・ディスカッション ―心理療法の届かぬ過酷な現場で生き残る方法とその実践―

岩崎学術出版 2015



申込方法

事務局宛に、E-mailでお申込み下さい。

件名に「ワーク・ディスカッション・セミナー参加希望」と記載してください。本文には、氏名、所属・職種、住所、電話番号、メールアドレス、臨床心理士資格の有無、日本精神分析学会の会員資格の有無を記載して下さい。後日事務局より参加の可否等についてご連絡いたします。

【締切】 2017年3月31日（定員になり次第、申込みを締め切ります。）

【申込先】精神分析的な心理療法セミナーみえ ワーク・ディスカッション・セミナー事務局

〒511-0811 桑名市東方山手通155-1 シャトレ桑名201 くわな心理相談室

E-mail tmoku0225@yahoo.co.jp

FAX 0594-82-5885（電話でのお問い合わせはご遠慮ください。）

※なお、本セミナーは、日本臨床心理士資格認定協会、定例型（継続型）研修会（4ポイント）に認定されています。